

「研修会等名称」

平成23年度FD推進ワークショップ（新任専任教員向け）
大学教員の職能開発とFD

場所：グランドホテル浜松

期間：2011年8月10日

1. 研修の内容

昨年FD研修を受けて、講義への取組みをどのように改善させたか、という点について上杉、出井氏（明治学院大学）、山崎氏（東京歯科大学）が報告した。

自己の報告内容は下記のとおり。（ゴシックは配布したレジュメ、明朝は口頭で説明）

1. 参加後の改善点

(1) レジュメについて

- ① **レジュメの事前配布**（予習して授業に臨める・欠席者もレジュメを取得できる、レジュメだけ取得したい学生は出席しないので、多少の私語対策になる）
- ② **レジュメの情報量**（情報量を盛り込むと板書を写す必要がなく、ただ聞いているだけとなり、情報量が少ないと板書に必死になって授業を聴くことができないので、重要な語句を穴埋めさせる程度が適切と考える）

(2) 授業の進め方

- ① **講義のはじめにテーマと関連する身近な具体例を提示**（授業の内容に関心を向けさせることにつながる）
- ② **ノートをとる以外に受講生に何かをさせる**（説明するだけの一方的な講義にならないように、六法をひく、発言する等の行動を受講生にしてもらう）
- ③ **適度な休憩**（集中力を90分続けることは難しいので、60分くらいに雑談等の休憩を挟むと、スムーズに講義を行うことができる）

(3) パワーポイントの活用

- ① **パワーポイントの量**（18枚くらい、フォントは50ポイント以上）
- ② **授業後にネット上で公開**（受講生が自分で復習して理解するのに役立つ）

(4) 任意アンケートの実施

- ① **アンケートの項目**（難易度・進度・PPTの量、板書の文字、フリーコメント）
- ② **毎授業後に公表**（フリーコメントに毎回対応策を書いて公表しているが、これにより受講生が自己の要望を聞いてくれているという満足感が得られ、学生から信頼されて、講義がよりよくなる）

2. 現在の問題意識

- (1) **口頭での説明に対する受講生の反応**（PPTを利用していると、PPTにあがったことは書き写すが、口頭での説明に対してはどこが要点かわからず、書き写せない学生が多いので、今後いかに指導すべきか検討していきたい）
- (2) **私語対策**（減点する等のペナルティーを科すと授業が静かになるが、重苦しい雰囲気の中、面白みのない授業となり、加減が難しいので、よい方法を考えていきたい）

2. 研修の成果

報告に対して次のような質問が出された。

- ①パワーポイントの利用は必須か。
- ②レジュメを事前に配布して、レジュメだけほしい学生を来させないという方法は果たしてよいのか。
- ③ゼミのような少人数授業ではどのような工夫を行っているのか。
- ④学生に質問して発言を促すという点につき、どのような質問をしているのか。
- ⑤任意アンケートの内容はどのようなものか。
- ⑥授業だけでは対応できずに個別対応が求められる案件に対して、教員はどのように対応すべきか。

これに対して、次のような応答をした。

- ①について、
 - ・パワーポイントの利用は必須としていないが、教室の容量から考えて、板書では後方の学生が見えないということで、使用する必要があると考えている。
 - ・字がきたないのでパワーポイントの方がよいという事情もある。
 - ・パワーポイントは映像を見せて、視覚に訴えることが可能。
 - ・情報を詰め込みすぎると受講生が消化できないので、気をつける必要がある。
 - ・板書は字が残り、見返すことができる。
- ②について
 - ・履修者全員に関心を持ってもらえるよう工夫するのが最善と考えるが、今はまだその能力が身につけていない。そこで、授業を真面目に受けたい受講生の環境を整備することに主眼を置いている。徐々に全員の興味をひくことができるようにできるよう努力していくつもりである。
- ③について
 - ・TAに手伝ってもらい、グループワークを行う。
 - ・少人数グループに分けて毎週報告してもらい、毎回意見を出してもらい。最後に報告に対する意見を全員に提出してもらい、次週報告した学生に配布。教員から指摘されるよりも同学年から指摘された方が学生はこたえるようなので、報告にむけて準備を頑張ってくる。
- ④について
 - ・簡単な事例を出して、授業で説明した内容のうち、どれをもとにして事例を解決すべきかを考えさせる
- ⑤について
 - ・授業の理解度等
 - ・アンケートをする際に、何を目的としているのか示すとデータの信憑性が高まる。
- ⑥について
 - ・特定の教員がすべて請け負わない方がよい。学校のしかるべき部署を紹介して、対応するようにした方がよい。その際注意すべきは、学生に対して、たらいまわしにしたという印象を与えないようにする。

3. 授業への研修成果の反映状況

今回のパネル・ディスカッションで出た意見を参考に、後期講義の改善を図りたい。

学部長	FD委員長	FD委員会	企画・広報課長	係